

説明会と講演会

18日 外国人向けガイド育成

東紀州観光まちづくり公社では、十八日(日)午前十時から県尾鷲庁舎で開催される「外国人向け観光ガイドの育成プロジェクト」の説明会と基調講演への参加を呼びかけている。

同プロジェクトは明治大が文科省から委託を受けた「社会人学び直し」ニーズ対応教育推進の一環。熊野古道などを実際に案内する経験を通じて、熊野の魅力をもっと多くの外国人観光客に伝えられる力を身に付ける。講座は六月から来年二月までの全十八回。東紀州地域か

ら田辺市までの五十人を募集する。なお、説明会では学習内容の詳細のほか、同公社の三石学さんによる基調講演も行われる。申し込み不要。「興味のある方はぜひご来場を」と呼びかけている。問合せは同公社(0597・89・6172)まで。

英語で熊野案内 受講者を募る

年々増加している熊野の外国人観光客をもてなすために、明治大学(東京)や地元自治体などが協力し、「外国人向け観光ガイドの育成プロジェクト」を

読売新聞 5月13日

行うことになった。来月から、和歌山県新宮市の市福祉センターなどで全18回のガイド育成講座が開かれる。

同講座は、外国人観光客を英語で案内できるガイドを育成し、地域の魅力を発信しようと、新宮市や東紀州観光まちづくり公社などが連携し、6月から来年2月まで開く。講座は4段階に分かれ、熊野の歴史や文化、ガイドの心得、英会話などを学ぶ。受講無料で、英語力に関係なく、熊野にゆかりのある人なら誰でも参加できる。

同公社では「英語が苦手でも無理なく学べる。やる気のある人に受講してもらいたい」と話している。

開講に先立ち、18日午後3時から、尾鷲市の県尾鷲庁舎で、同公社の三石学さんが「世界遺産―熊野の魅力」と題して基調講演するほか、講座説明会がある。問い合わせは同公社(0597・89・6172)。

外国人の観光ガイド

養成講習の説明会と講演会

熊野の魅力をもっと多くの外国人観光客に伝えられる力を身につけてもらう「外国人向け観光ガイドの育成プロジェクト」の説明会と講演会が十八日午後三時から、尾鷲庁舎五階大会議室で開かれる。

熊野の魅力をもっと多くの外国人観光客に伝えられる力を身につけてもらう「外国人向け観光ガイドの育成プロジェクト」の説明会と講演会が十八日午後三時から、尾鷲庁舎五階大会議室で開かれる。

紀勢新聞 5月14日

尾鷲市・紀北町管内

委託事業で全国五地域の自治体と連携して実施する「社会人学び直し」ニーズ対応教育推進プログラム・外国人向け観光ガイドの育成プロジェクト」。十九年度から始まっており、本年度は六月から来年二月にかけて新宮市を主会場に全十八回の養成講習を開く。

開講に先立つプログラム説明会と基調講演会で、十七日新宮市、十八日田辺市でも説明会などが開かれる。

尾鷲市会場は明治大学の崎章浩教授(熊野市出身)のあいさつの後、東紀州まちづくり観光公社観光振興室長の三石学氏が「世界遺産・熊野の魅力」と題して基調講演を行う。

養成講座のカリキュラムは四段階の学習ステップで構成されており、英語が苦手な人でも無理なく学ぶことができる。

第一段階は導入学習として「熊野地域の歴史と文化」「外国人の文化」「ガイドの知識」を、第二段階は「ホスピタリティとは何か」「文化の違う外国人とコミュニケーションをとる際に気をつけること」を学ぶ。

第三段階はガイドのための基本的な英会話を学ぶとともに、自宅学習の教材を配布して、講義だけでなく日ごろから英語にふれる機会を増やす。第四段階は英語観光マップなどを作製し、情報発信に活用する。

カリキュラムの最後には、ガイド模擬体験として受講生全員が実際に熊野古道の案内を経験することに

より、学習効果を確認するための現地研修を行う。

養成講座の受講申し込みは六月六日まで受け付ける。資料申し込みは東紀州まちづくり観光公社(0597・89・6172)へ。問い合わせは明治大学エクスパンショングループ(03-32996-4539)まで。